

□(株)麻生 飯塚病院 呼吸器外科の研究内容と業績

『飯塚病院呼吸器外科の研究内容と業績』を4つの研究テーマに分類してご紹介します。

1. 肺癌に対する外科治療
2. 肺癌以外の呼吸器外科疾患に対する外科治療
3. 肺癌に対する多施設共同研究
4. 肺癌に対する基礎研究

1. 肺癌に対する外科治療

呼吸器外科領域の中で最も多い疾患は肺癌です。わたしたち飯塚病院呼吸器外科でも『肺癌に対する外科治療』は最も重要な臨床研究のテーマです。とくに高齢者、併存疾患を有する症例に対する安全で低侵襲な手術、周術期管理に関する臨床研究に重点を置いています。この分野での論文発表と主な学会発表には以下のようなものがあります。

【 論文 】

- 1) Kodate M, Osaki T, Ono M. Video-assisted thoracic surgery lobectomy for right lung cancer in patient with right aortic arch: report of a case. Gen Thorac Cardiovasc Surg (published online: 19 January, 2013).
- 2) Morimoto M, Osaki T, Kodate M, Nagaie T, Yamamoto H, Oya M. Spindle cell carcinoma of the lung. Gen Thorac Cardiovasc Surg 59(2):129-132, 2011.
- 3) Nakanishi K, Nagaie T, Tanaka J, Ando H. Concomitant surgery of a left atrial myxoma and a pulmonary carcinoma. Gen Thorac Cardiovasc Surg 55(8):325-327, 2007
- 4) 山口 央, 大崎敏弘, 大庭ひろみ, 杉本幸弘, 海老規之, 山本英彦. 15歳で発見された高分化胎児型腺癌の1例. 肺癌 51(6):742-746, 2011.

- 5) 福正りさ, 大崎敏弘, 由茅隆文, 小舘満太郎, 海老規之, 杉本幸弘, 楠元規生, 山口 央, 靄野広介, 山本英彦, 中西浩三. 80歳以上高齢者肺癌の手術成績. 日本胸部臨床 69(4):362-367, 2010.
- 6) 小舘満太郎, 大崎敏弘, 徳渕 浩, 山本英彦, 海老規之, 村上純滋. 喀血で発症し気管支動脈塞栓術後に切除した末梢発生粘表皮癌の1例. 肺癌 49(3):298-302, 2009

【 学会 】

- 1) 大崎敏弘, 小舘満太郎, 小野憲司. 肺癌手術における術後心房細動の発症危険因子に関する検討. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013年4月11~13日, 福岡
- 2) 小野憲司, 大崎敏弘, 吉丸耕一郎, 小舘満太郎. 肺癌手術における肺年齢と Charlson comorbidity index による術後呼吸器合併症と予後の評価. 第52回日本肺癌学会総会 2011年11月3~4日, 大阪
- 3) 大崎敏弘, 加藤治文, 杉尾賢二, 光富徹哉, 永島 明, 一瀬幸人, 安元公正. シンポジウム: 肺癌のリンパ節郭清の意義ーリンパ節微小転移からみた肺癌手術におけるリンパ節郭清の意義. 第26回日本呼吸器外科学会総会 2009年5月14~15日, 北九州

2. 肺癌以外の呼吸器外科疾患に対する外科治療

呼吸器外科は肺癌以外にも転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫などの腫瘍性疾患、膿胸、肺結核などの炎症性疾患、気胸などの外科治療を行っています。これらの中には非常に稀な症例や新しい手技を必要とする症例が存在します。この分野での論文発表と主な学会発表には以下のようなものがあります。

【 論文 】

- 1) Osaki T, Kodate M, Takagishi T, Nomi M, Murakami J, Yamamoto H. Unique extralobar sequestration with atypical location and aberrant vessels. Ann Thorac Surg 90(5):1711-1712, 2010.
- 2) Morimoto M, Osaki T, Nagara Y, Kodate M, Motomura M, Murai H. Thymoma with Lambert-Eaton myasthenic syndrome. Ann Thorac Surg 89(6):2001-2003, 2010.
- 3) Takagishi T, Osaki T, Kodate M, Ebi N, Oya M, Yamamoto H. Huge mediastinal cystic tumor penetrating the sternum. Ann Thorac Surg 90(2):664-666, 2010.
- 4) 千場 隆, 大崎敏弘, 小舘満太郎. 縦隔発生骨髄脂肪腫の1例. 日本呼吸器外科学会雑誌 25(7):727-73, 2011.

- 5) 高岸智子, 大崎敏弘, 小舘満太郎, 長家 尚. 縦隔脂肪肉腫の1切除例. 日本臨床外科学会雑誌 71(8):1970-1975, 2010.
- 6) 小舘満太郎, 高岸智子, 大崎敏弘. 胸壁発生形質細胞腫. 胸部外科 63(10):879-882, 2010.

【 学会 】

- 1) 小野憲司, 大崎敏弘, 小舘満太郎. 75歳以上の高齢者気胸に対する外科治療の検討. 第113回日本外科学会定期学術集会 2013年4月11~13日, 福岡
- 2) 小野憲司, 大崎敏弘, 小舘満太郎. 大腸癌肺・肝転移切除症例の検討. 第29回日本呼吸器外科学会総会 2012年5月17~18日, 秋田

3. 肺癌に対する多施設共同研究

肺癌に対する化学療法を中心とした多施設共同研究を大学（主に産業医科大学医学部）や他施設と一緒にしています。この分野での論文発表と主な学会発表には以下のようなものがあります。

【 論文 】

- 1) Uramoto H, Nakanishi R, Nagashima A, Uchiyama A, Inoue M, Osaki T, Yoshimatsu T, Sakata H, Nakanishi K, Yasumoto K. A randomized phase II trial of adjuvant chemotherapy with bi-weekly carboplatin plus paclitaxel versus carboplatin plus gemcitabine in patients with completely resected non-small cell lung cancer. *Anticancer Res* 30(11):4695-4699, 2010.

【 学会 】

- 1) Sugio K, Nagashima A, Nakanishi R, Uchiyama A, Inoue M, Osaki T, Yoshimatsu T, Takenoyama M, Hanagiri T, Yasumoto K. Randomized phase II trial of the bi-weekly schedule of adjuvant chemotherapy with carboplatin plus paclitaxel versus carboplatin plus gemcitabine in patients with non-small cell lung cancer (NSCLC). *ASCO Annual Meeting 2009*, 5.29-6.2, Orlando, USA

4. 肺癌に対する基礎研究

臨床分野のみではなく、大学（主に産業医科大学医学部）や他施設と共同して基礎的分野の研究も行っています。今年度より抗腫瘍免疫で注目されているPD-1およびPD-L1受容体の肺癌における発現を検討する基礎研究も始める予定です。この分野での論文発表と主な学会発表には以下のようなものがあります。

【 論文 】

- 1) Oyama T, Uramoto H, Kagawa T, Yoshimatsu T, Osaki T, Nakanishi R, Nagaya H, Kaneko K, Muto M, Kawamoto T, Tanaka F, Gotoh A. Cytochrome P450 in non-small cell lung cancer related to exogenous chemical metabolism. *Frontiers in Bioscience* S4:1539-1546, 2012.
- 2) 大崎敏弘, 安元公正. 癌のリンパ節微小転移—外科治療からみた臨床意義—肺癌. *日外会誌* 114(1):28-33, 2013.
- 3) 大崎敏弘, 安元公正. 微小転移 —外科の立場から— 肺癌の微小転移. *外科治療* 98(5):822-828, 2008.

【 学会 】

- 1) Osaki T, Yasumoto K, Kato H, Sugio K, Mitsudomi T, Nagashima A, Ichinose Y. Prognostic value of cytokeratin-positive cells in the bone marrow and lymph nodes of patients with non-small cell lung cancer: a multicenter prospective study. 19th International Symposium of Hiroshima Cancer Seminar, November 1, 2009, Hiroshima, Japan
- 2) 小山倫浩, 浦本秀隆, 竹中 賢, 近石泰弘, 中川 誠, 永田好香, 下川秀彦, 岩田輝男, 宗 知子, 花桐武志, 宗 哲哉, 吉松 隆, 大崎敏弘, 中西良一, 兼田博, 本田志延, 田中文啓. 肺腺癌における癌幹細胞マーカー—アルデヒド脱水素酵素—の臨床病理学的検討. 第 113 回日本外科学会定期学術集会 2013 年 4 月 11 ~13 日, 福岡